

23.4 植木のさと安行 アキョウ

担当 松永 090-1609-5814

[期日] 4月25日(火)

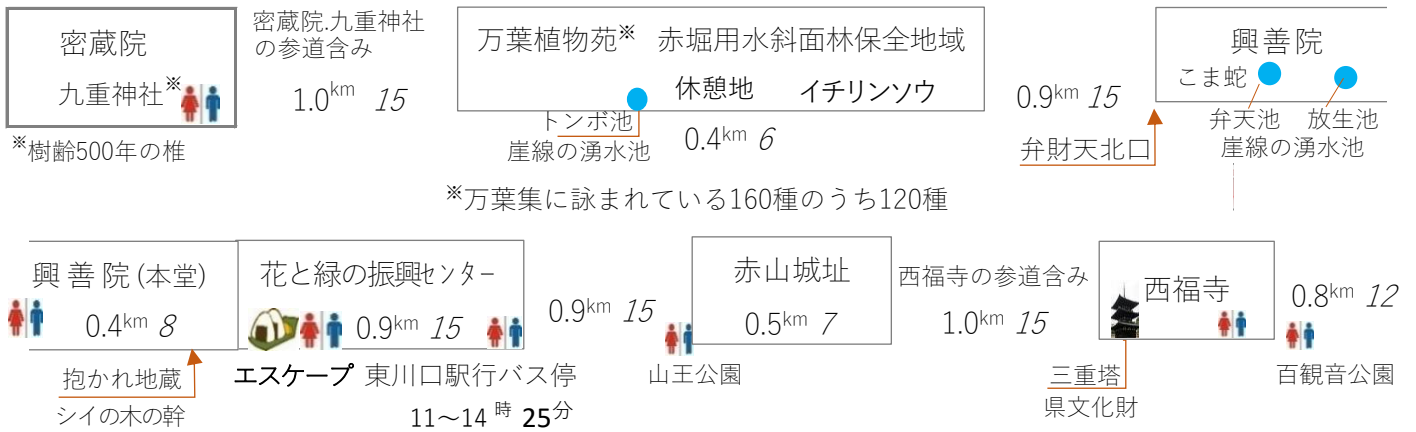
[集合] 中野島駅 8:26

斜数字 休憩・観賞時間等を含まない実歩行時間

km 坂・階段等を考慮しない地図上の水平距離

[昼食] 弁当

中野島 8:31 ¥8	府中本町 8:44着 8:48 6~7号車乗車便利	東川口 9:29着	南 口	②のりば 東川口駅南口 9:50 国際興業 西川口駅東口行(慈林経由) ¥270	安行支所 10:06着 0.5km 7
-------------------	---------------------------------	--------------	--------	--	---------------------------



埼玉高速鉄道 戸塚安行駅 浦和美園方面乗車 中野島まで ¥1,034	武蔵野線* 東川口 *新宿経由より安くて早い	計 7.2km 1:55 case 戸塚安行駅発 14:52 中野島駅着 16:00
---	------------------------------	---

コース概要 川口市安行は、元東京湾の崖線雑木林(斜面林)が走り、古刹、日本4大植木の生産地安行植木の里ほか固有の文化遺産があって、日本ウオーキング協会の「美しい日本の歩きたくなるみち500選」に選定されています。

コースは、みちすがら植木の里を思いおもいに観賞しながら、花と緑の古刹・城址を巡る散歩道です。連続した坂道や危険箇所等はありません。工事中的カ所があって(→マップ)本来の道が無くなっているため→はぐれに注意!

エスカープ 4km地の昼食場所予定地の花と緑の振興センターバス停から武蔵野線東川口駅へ

密蔵院 本尊は平安期に創られた地蔵菩薩像で、1469年に中興された550年の歴史を持つ古刹です。花の寺としても知られ、特に安行桜が咲く時期(彼岸)には多くの観光客が訪れます

安行イチリンソウ自生地 雑木林の貴婦人といわれるイチリンソウは、その数が減って県の準絶滅危惧種に分類されています。元東京湾の段丘崖に自生しているイチリンソウは市の天然記念物に指定され、地元の団体により保全の努力がされている一方、販売目的の大規模な盗掘などで数は減り、いまでは高い柵で囲われています

安行植木の里 安行の植木の生産地としての歴史は江戸の初期といわれていますが、1657年の明暦の大火をきっかけに発展しました。安行には多くの植木の生産業者が集まっていて、安行は植木の見本市となっています。特定カ所には立寄りませんので、道すがら思いおもいに観賞して歩いてください

興善院 1546年(室町時代)創建の曹洞宗の寺院。被災を繰り返し、現在の本殿は1920年に再建されたものです。本院の南はもとの海岸線の位置であるため興善院は上と下の地に分かれており、その斜面林はふるさとの森として保全されています。そこからの湧水はもと東京湾の位置にある放生池・弁天池へ流れ出て、そこには人気の金運の蛇が本尊の弁財天があります。本院は花や紅葉の寺としても知られ、また椎の木の幹に埋まった元禄年間の抱かれ地蔵は見つけるのに苦労です

赤山城址 伊那氏の居城で77haの広さを誇っていたといわれ、県の旧跡に指定されています。城址の大半は雑木林や苗木畑となって双方が同棲している形になっています。主郭を中心とした一部が城址公園として整備されています

